

# 江端川総合治水対策 に関する提言書

流域住民の協働による家屋浸水の軽減を目指して



平成 18 年 7 月梅雨前線豪雨による江端町周辺の浸水状況

平成 19 年 3 月

江端川総合治水協議会

# はじめに

江端川流域では、平成16年5月17日の融雪出水、平成16年7月18日の福井豪雨、10月20日の台風23号、さらに平成18年7月15日からの豪雨により、中上流域の未改修区間で広く浸水を繰り返している。

概ね30年で整備する河川整備計画の整備区間は福井市江端町地先から太田町地先及び下河北町地先の北陸自動車道下流までの約2.6km区間であり、繰り返し浸水をしている地区はさらに上流にある。

今後、河川改修を精力的に進捗させることは当然であるが、未改修区間で頻発している家屋浸水を無視することはできない。このため、未改修区間の浸水対策として河川等の整備と各種対策を連携させ、県市をはじめ地域住民の意見も取り入れた、総合的な浸水対策の実現に向けた協議会が設立された。

本協議会は、約半年をかけて4回の協議会、9回の作業部会を開催し、江端川流域における浸水被害の現況把握と課題整理を行うとともに、家屋浸水の解消に向けた各種対策を比較検討してきた。

ここに、これまでの審議内容を集約し、『流域住民の協働による家屋浸水の軽減を目指した提言』としてとりまとめた。

# 流域住民の協働による家屋浸水の軽減を目指した提言

## 江端川の現状

江端川は、日野川と足羽川に挟まれた低地部をゆるやかに流下する内水河川である。流域内の市街化率は約5%と過去20ヶ年で大きな変化はなく、農地、山林が約76%を占めている。河川及び農業生産基盤の整備により河道、排水機場、農業排水路などの整備が進められてきた。

しかしながら、新たに宅地化した地区は低地であること、また、近年は短時間集中豪雨が頻繁に発生することから、日野川の水位上昇や上流の河川・水路の流下能力不足が原因となって、江端町周辺、新開町、徳光町及び半田町では家屋浸水が頻発している。

## 対策の目標

江端川流域における総合的な治水対策の目標は、現況の治水安全度、近年の主要洪水の生起確率、地域住民の要望等を勘案して以下のとおり設定する。

|              |
|--------------|
| 江端川総合治水対策の目標 |
|--------------|

|                           |
|---------------------------|
| 平成16年の台風23号の降雨に対する家屋浸水の解消 |
|---------------------------|

## 基本理念と基本方針

江端川下流部は河川整備計画に基づいて鋭意河川整備を推進しているが、繰り返し浸水している地区（新開町、徳光町、半田町）はさらに上流にある。今後、河川改修を精力的に進捗させることは当然であるが、未改修区間の頻発している家屋浸水を無視することはできない。

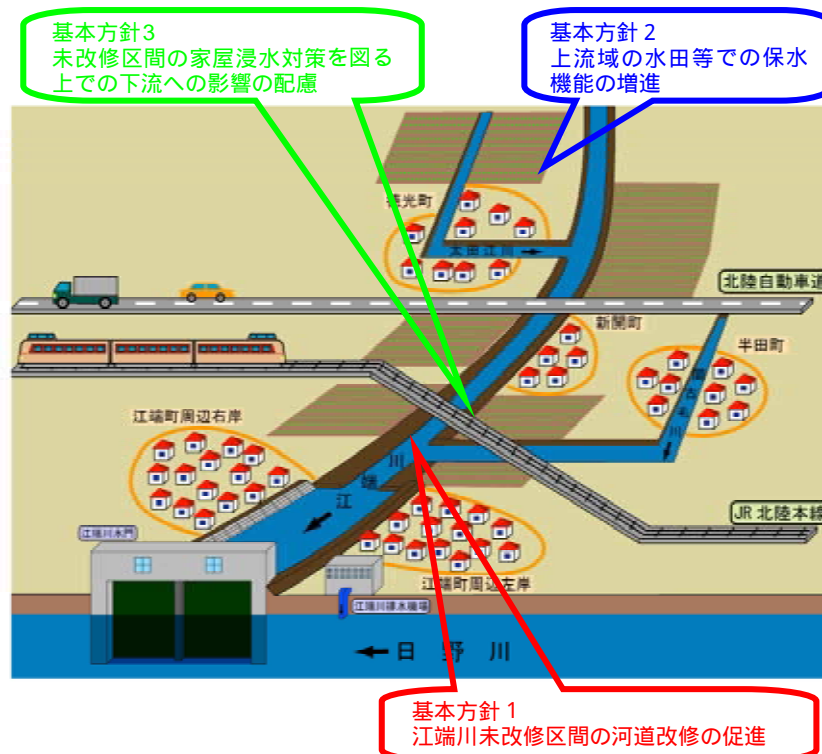
江端川流域では流域住民の協働による家屋浸水の軽減を目指した総合的な治水対策の推進が課題として挙げられ、未改修区間の浸水対策として河川等の整備と各種対策を連携させ、県市をはじめ地域住民の意見も取り入れた、流域全体の総合的な治水対策の推進を目指すことが重要である。

このような基本理念に基づき、以下の基本方針に従って各地区の家屋浸水の解消を目指した流域全体での対策を推進する。

**基本方針 1：江端川未改修区間の河道改修の促進**

**基本方針 2：上流域の水田等での保水機能の増進**

**基本方針 3：未改修区間の家屋浸水対策を図る上での下流への影響の配慮**



江端川総合治水対策の基本方針

## 対策の内容

江端川流域の総合的な治水対策は、各地区の浸水原因の特徴を踏まえ、以下に示すハード対策とソフト対策を早期に実施することを望む。

なお、実施にあたっては関係者による協議を継続させることが必要である。

### 江端町周辺のハード対策内容

#### 短期対策（概ね5年以内の達成）

江端川の改修（河道拡幅、河道掘削、水門設置）

流入小河川の改修（堤防嵩上げ）

江端町内対策の実施（内水排除ポンプの増強・区域内水田の将来計画）

#### 長期対策

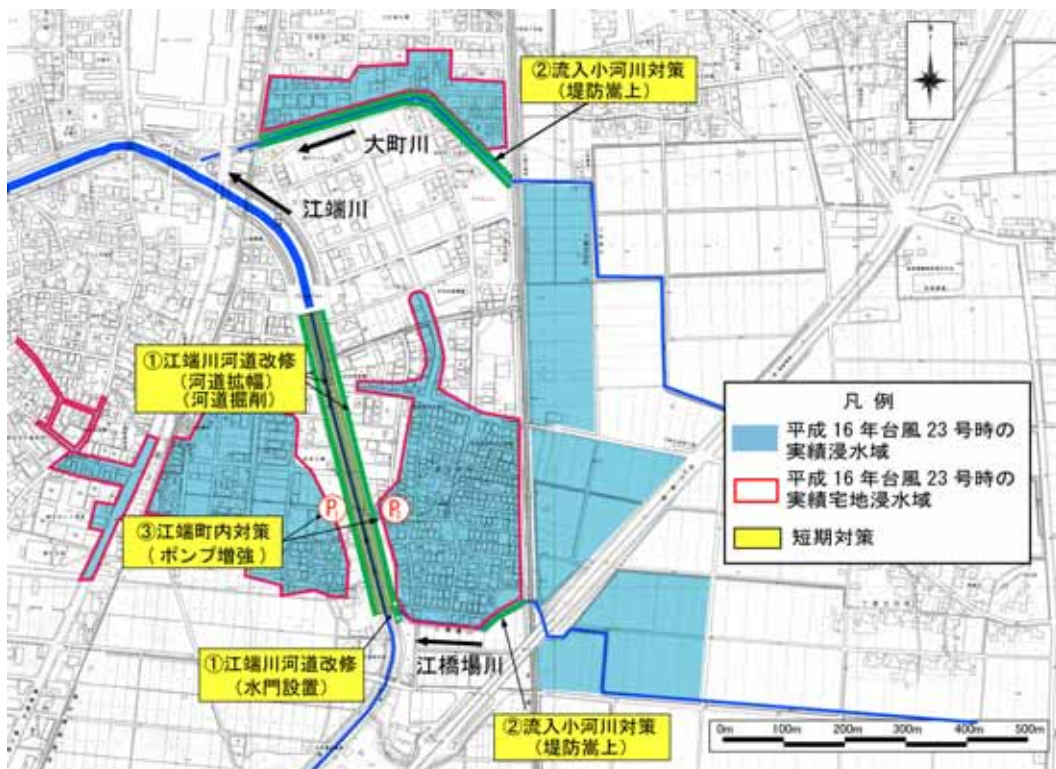
江端川排水機場の増強（日野川合流点）

#### 目標を達成するために必要な対策の組み合わせ

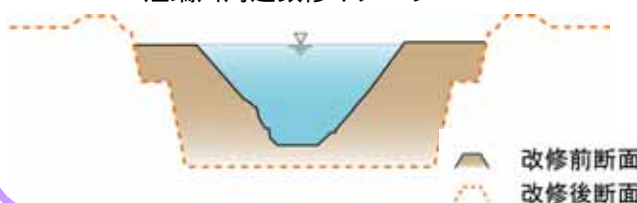
江端川の改修（河道拡幅、河道掘削、水門設置）

+ 流入小河川の改修（堤防嵩上げ）

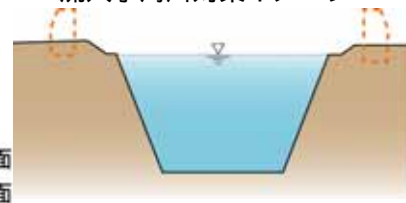
+ 江端町内対策の実施（内水排除ポンプの増強・区域内水田の将来計画）



江端川河道改修イメージ



流入小河川対策イメージ



## 新開町のハード対策内容

### 短期対策（概ね5年以内の達成）

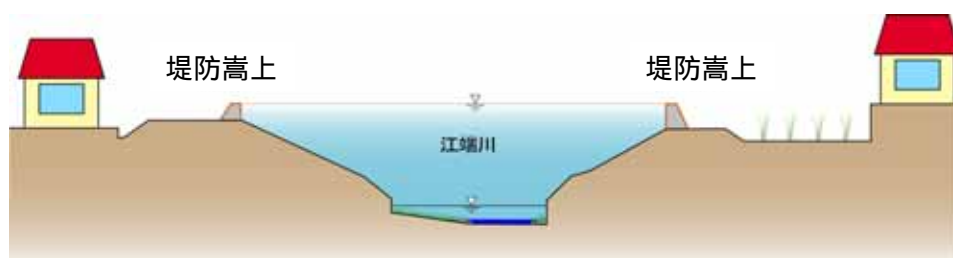
江端川の改修（両岸堤防嵩上）

### 目標を達成するために必要な対策

江端川の改修（両岸堤防嵩上）



江端川改修（両岸堤防嵩上）のイメージ



## 半田町のハード対策内容

### 短期対策（概ね5年以内の達成）

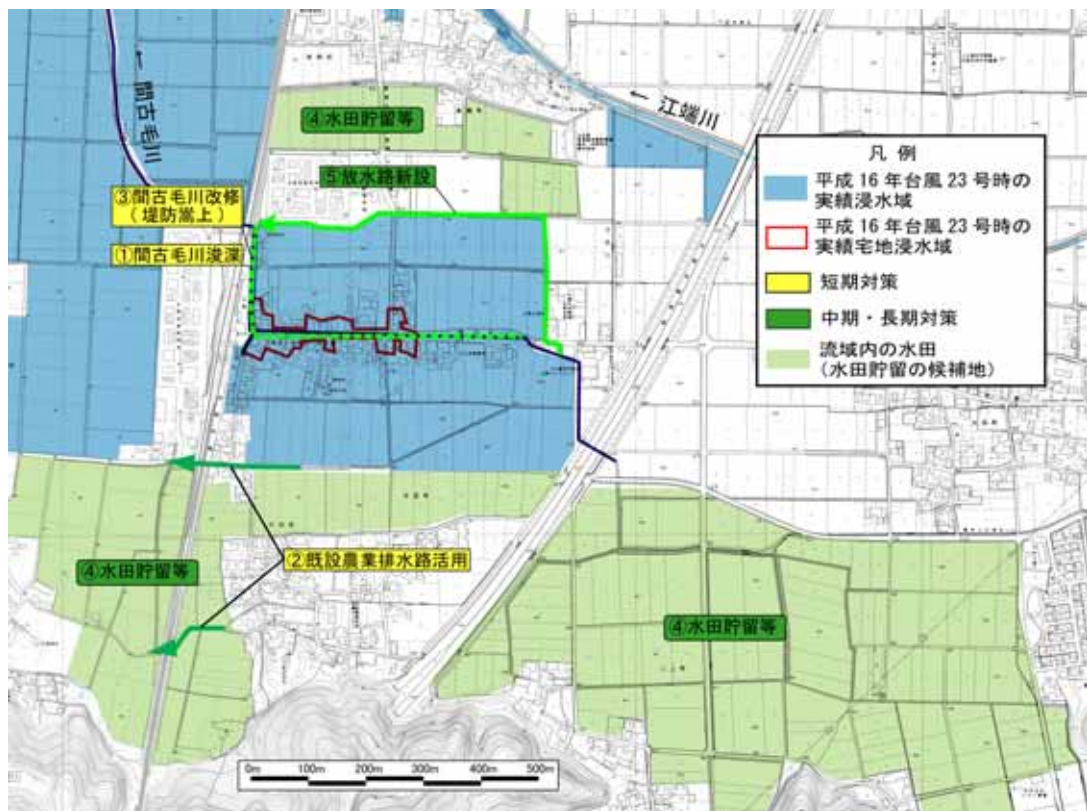
- 間古毛川の浚渫
- 既設農業排水路の活用
- 間古毛川の改修（堤防嵩上）

### 中・長期対策（実現に向けて継続的に検討する）

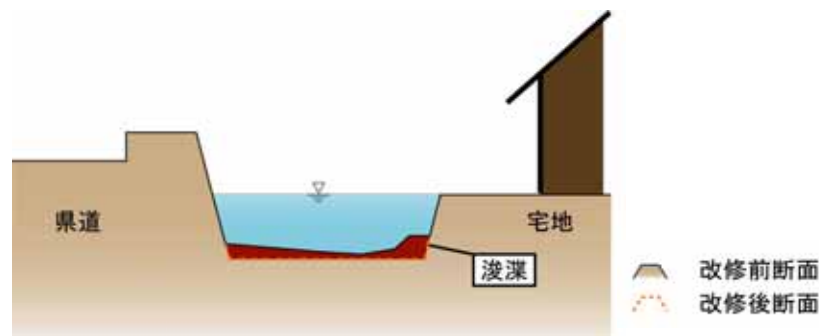
- 水田貯留等
- 放水路新設

### 目標を達成するために必要な対策の組み合わせ

間古毛川の浚渫 + 既設農業排水路の活用 + 水田貯留等



間古毛川浚渫のイメージ



## 徳光町のハード対策内容

### 短期対策（概ね5年以内の達成）

太田江川の浚渫

### 中・長期対策（実現に向けて継続的に検討する）

太田江川の改修（河床掘削、堤防嵩上）

水田貯留等

放水路新設

### 目標を達成するために必要な対策の組み合わせ

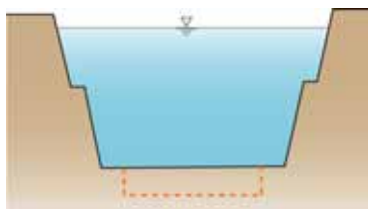
太田江川の浚渫 + 太田江川の改修（河床掘削、堤防嵩上）

+ 水田貯留等

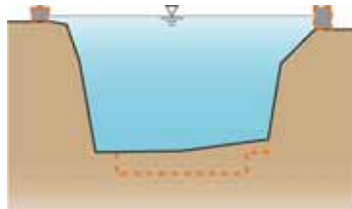


### 太田江川改修イメージ

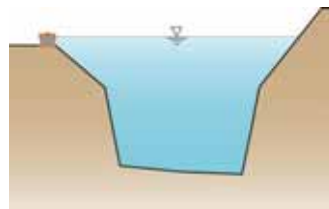
河道掘削（B断面）



河道掘削と堤防嵩上げ（E断面）



堤防嵩上げ（G断面）



改修前断面  
改修後断面



## ソフト対策の内容

浸水対策は、河川改修などのハード対策だけではなく、情報伝達や避難体制の整備などソフト対策も重要である。そこで、被害の軽減に向けて行政と流域住民が連携を強化し、次のような対策が必要である。

### 降雨、水位等の情報システムの確立

正確で分かりやすい情報を迅速に知らせる情報システムの整備

- ・ 屋外拡声器による防災情報管制システム
- ・ 気象情報や災害緊急情報をインターネットや携帯電話にメール配信
- ・ 災害用ホームページへの切り替え

河川水位観測局及び雨量観測局の設置によるデータの収集及び情報提供

### 水防・避難体制の強化

自主防災組織の結成、育成の支援など行政と流域住民との連携強化

地域防災活動の拠点整備

洪水による浸水の想定や避難に関する情報提供

### 減災への取り組み

浸水被害を軽減できる家づくりの工夫  
土のう設置等による浸水防御



屋外拡声器



自主防災組織活動



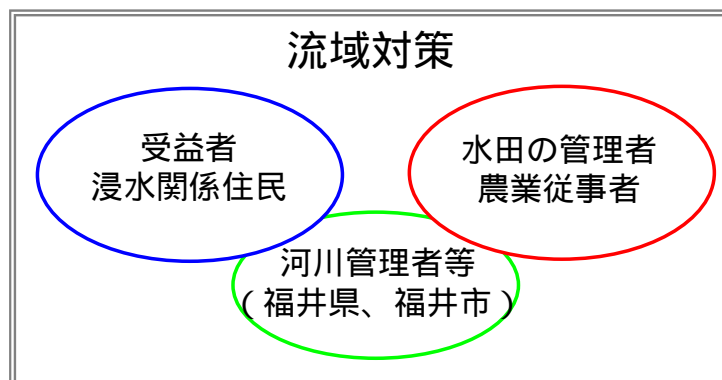
洪水ハザードマップと貸出し用VTR

## 今後の取り組み

家屋浸水を解消するためには、水田貯留等の地元が主体となる対策を実施しなければならない。このためには、河川管理者等、受益者（浸水関係住民）、水田の管理者（農業従事者）が共通認識のもと具体的な行動を始める必要があり、以下の取り組みを推進するため地域住民の参加のもと協議を継続させていくことを提案する。

協議会（仮称）の立ち上げ

地域住民、農業従事者、河川管理者等の発意による協議会等の立ち上げ。

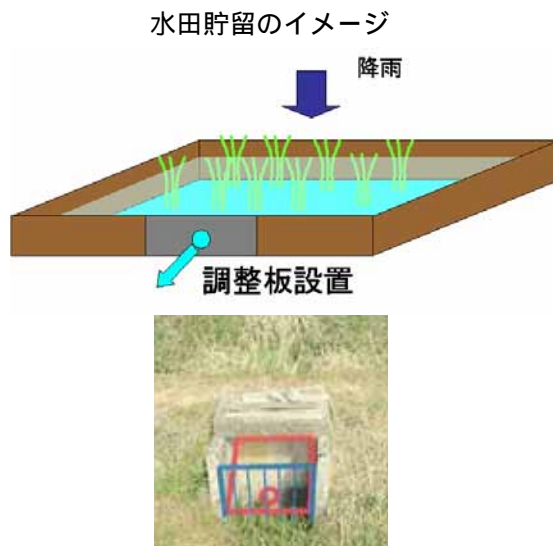


普及啓発の実施

- ・ 地域住民参加型フォーラムの実施
- ・ シンポジウム、パンフレット、先進地事例研修等の実施
- ・ 試験ほ場の設置 等

効果検証等

- ・ 解析検討
- ・ 現地指導
- ・ 水田貯留等の影響検証



## お わ り に

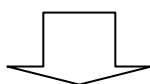
本提言では、江端川の中・上流域で頻発する家屋浸水の軽減に向けて、流域住民の協働による総合的な治水対策を示した。従来の主に県市が主体となって実施する河道改修などの治水対策に加え、中・上流域に広がる水田域での対策が必要となっている。これらを実現させるためには、水田管理者（農業従事者など）に理解と協力を求めるだけでなく、下流域の都市住民や河川管理者等も連携して流域がひとつの運命共同体であるという共通認識のもと様々な取り組みを推進していく必要がある。

このような取り組みを通じて、流域住民の相互理解が深まり、流域全体での総合的な治水対策が推進され、頻発する家屋浸水の早期解消が実現されることを願うものである。

平成 19 年 3 月  
江端川総合治水協議会

## 江端川総合治水協議会の開催経過

| 開催期日                 | 名 称      | 協議会の審議内容                                |
|----------------------|----------|---|
| 平成 18 年<br>10 月 5 日  | 第 1 回協議会 | 協議会の設立<br>現状の把握、課題説明                    |
| 平成 18 年<br>11 月 22 日 | 第 2 回協議会 | 計画目標について<br>各地区のハード対策案について              |
| 平成 19 年<br>1 月 23 日  | 第 3 回協議会 | 基本方針について<br>各地区のハード対策案について<br>ソフト対策について |
| 平成 19 年<br>3 月 22 日  | 第 4 回協議会 | 総合治水対策の最終案<br>提言内容について                  |



提言書

第一回協議会



第二回協議会



第三回協議会



第四回協議会



## 江端川総合治水協議会委員

【順不同】

### 学識経験者

| 氏 名  | 所 属                    |
|------|------------------------|
| 福原輝幸 | 福井大学工学部建築建設工学科 教授      |
| 早瀬吉雄 | 石川県立大学生物資源環境学部環境科学科 教授 |

### 地域住民代表者

| 氏 名   | 所 属           |
|-------|---------------|
| 坂川清   | 清明地区自治会連合会長   |
| 高島秀明  | 上文殊地区自治会連合会長  |
| 川端源一郎 | 元文殊公民館運営審議委員長 |
| 高島武彦  | 六条地区自治会連合会長   |

### 土地改良区

| 氏 名 | 所 属               |
|-----|-------------------|
| 吉川強 | 足羽川堰堤土地改良区連合 専務理事 |

### 市民団体等

| 氏 名   | 所 属            |
|-------|----------------|
| 金井三枝子 | 江端町自主防災会（情報担当） |
| 木下一子  | 足羽団地地区防災委員     |

### 国河川管理者

| 氏 名  | 所 属                        |
|------|----------------------------|
| 三輪準二 | 国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所 事務所長 |

### 県市関係者

| 氏 名   | 所 属              |
|-------|------------------|
| 名津井学  | 福井県土木部河川課 課長     |
| 中田峰示  | 福井県農林水産部農村振興課 課長 |
| 三田村一豊 | 福井県土木部福井土木事務所 所長 |
| 坪田洋次  | 福井県福井農林総合事務所 所長  |
| 高嶋泉   | 福井市建設部 部長        |
| 穴田孝治  | 福井市農林水産部 部長      |

委員長、副委員長